



# EU

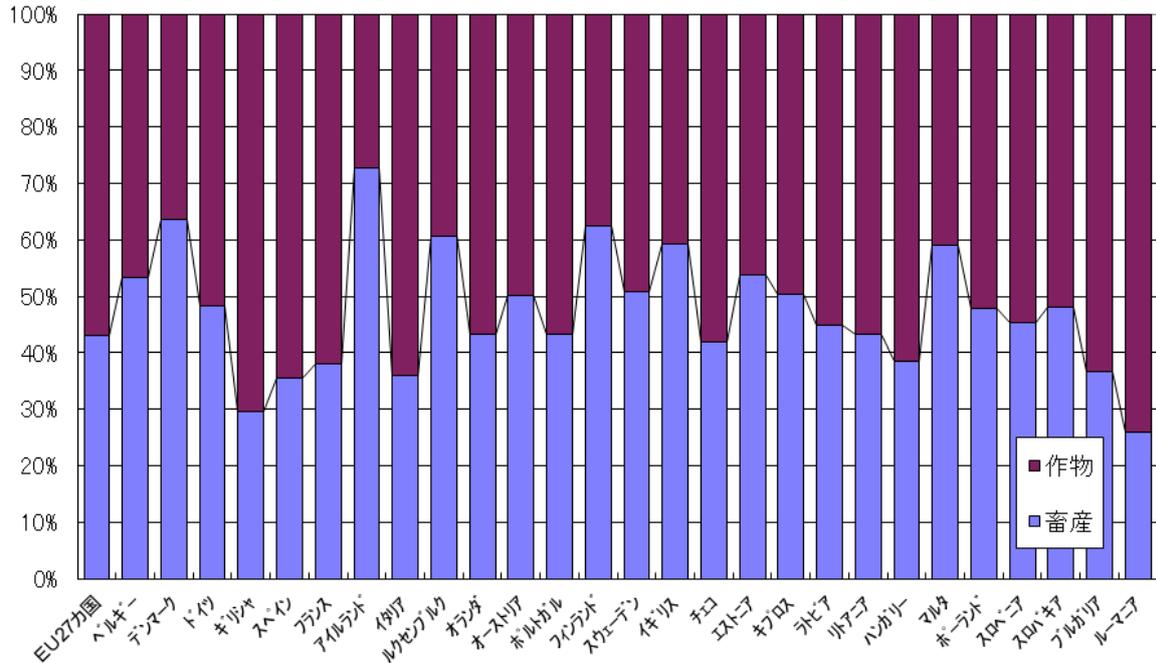
## 1 農・畜産業の概況

EUは、加盟国全体で1億8388万ヘクタール（2010年）の農用地面積を有し、農業経営体数は1370万戸（2007年）、1戸当たりの農用地面積は、12.6ヘクタール（2007年）である。

2010年におけるGDPのうち農業生産の占める割合は1.2%と前年より0.1ポイント増加した。また、同年の（以下同じ）労働人口に占める農業従事者の割合は4.7%であり、ほかの先進国と同様にその割合は高くない。

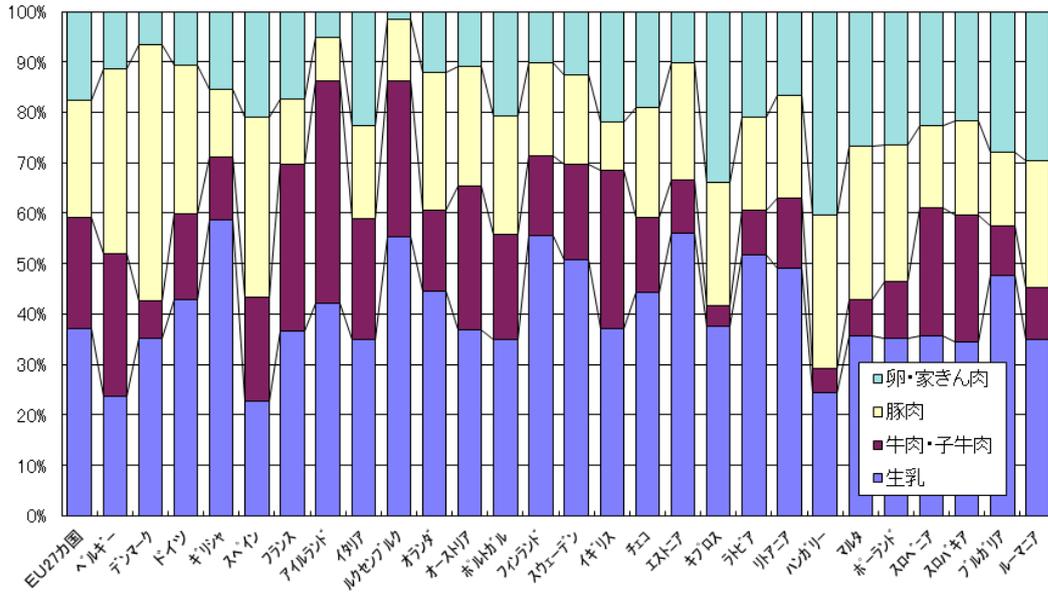
農業生産額は3555億7000万ユーロと前年を6.4%上回った。このうち約41%に相当する1423億2000万ユーロを畜産が占めており、EU農業の主要部門となっている。畜産の内訳を見ると、生乳生産額が475億6000万ユーロ（農業全体の約14%）、牛肉・子牛肉生産額が283億5000万ユーロ（同約8%）、豚肉生産額が308億7000万ユーロ（同約9%）、卵・家きん生産額が246億3000万ユーロ（同約7%）である。

図1 農業生産額に占める畜産のシェア(2010年)



資料: 欧州委員会「Agriculture in the European Union – Statistical and economic information 2011」

図2 畜産生産額に占める畜種別のシェア(2010年)



資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union – Statistical and economic information 2011」

表1 主要農業経済指標

国名／区分	農用地面積 (千ヘクタール)	農業労働人口 (千人)	農業経営体数 (千戸)	1戸当たり 農用地面積 (ヘクタール)	農業生産額 (百万ユーロ)
	2010	2010	2007	2007	2010
ベルギー	1,365	81	48	28.6	7,757
デンマーク	2,639	73	45	59.7	9,214
ドイツ	16,890	730	371	45.7	45,044
ギリシャ	3,819	429	23	4.7	10,245
スペイン	22,798	712	1,044	23.8	39,033
フランス	35,178	779	527	52.1	66,651
アイルランド	4,190	79	128	32.3	4,105
イタリア	13,338	838	1,679	7.6	44,349
ルクセンブルク	131	7	2	56.8	298
オランダ	1,921	251	77	24.9	24,772
オーストリア	3,169	177	165	19.3	6,452
ポルトガル	3,686	434	275	12.6	6,998
フィンランド	2,296	107	68	33.6	4,159
スウェーデン	3,067	100	73	42.9	5,046
イギリス	17,709	593	300	53.8	23,372
EU15カ国	132,196	5,353	5,662	22.0	299,024
チェコ	3,546	135	39	89.3	3,990
エストニア	932	19	23	38.9	636
キプロス	121	15	40	3.6	695
ラトビア	1,833	62	108	16.5	934
リトアニア	2,689	95	230	11.5	2,005
ハンガリー	5,783	220	626	6.8	6,561
マルタ	10	3	11	0.9	125
ポーランド	15,625	1,604	2,391	6.5	19,437
スロベニア	469	68	75	6.5	1,092
スロバキア	1,930	45	69	28.1	1,902
EU25カ国	165,134	7,980	9,276	16.8	336,400
ブルガリア	5,030	515	493	6.2	3,832
ルーマニア	13,711	1,726	3,931	3.5	15,342
EU27カ国	183,875	10,459	13,700	12.6	355,573

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union – Statistical and economic information 2009」

2010年のEUの農業概況は、2009年に大幅に下落した農業所得（実質）が前年比9.9%増加したことが特徴づけられる。これは、農産物生産量はわずかに下落したものの、農産物価格が上昇したことによるものである。生産者価格（実質）は、穀物価格（同8.9%増）、畜産物価格（同2%増）などの上昇により同4.3%増加した。EU全体の農業者1人当たりの農業所得（実質）は、前年比12.3%と大幅に増加した。国別にみると、デンマークは54.8%増、一方、ルーマニアおよび英国は同8.4%減と加盟国間で大きく異なった。部門別にみると、牛肉は、飼養頭数は引き続き減少したが生産量は前年比2.9%増となった。また、2010年の輸出は、ブルータンク発生による影響で減少から回復を示した。豚肉は、穀物価格高

騰が響き2010年下半年以降の生産者利益の低下が懸念、引き続き大規模経営による効率化が進む状況にある。2010年の輸出は、ユーロ安の恩恵と秋以降の域内消費量減少による価格下落を背景に、前年比12.5%と大幅に増加した。主な輸出先はロシアで前年比6.0%増、また、未だ輸出量は少ないものの大幅に増加した国は中国および日本で各々19%増、20%増となった。牛乳・乳製品は、第1四半期に生乳出荷量が減少したものの、生乳価格が高く推移したことから、その後順調に生乳生産がなされ前年比1.3%増となった。飼養頭数は、継続的に減少しており同0.8%減の2350万頭となったが、1頭当たり年間泌乳量は同1.2%増の6,260kgとなった。

## 2 畜産の動向

### (1) 酪農・乳業

2010年のEUの生乳生産量は、全世界（約7億2087万トン：FAO資料）の約30%を占めた。これは、単一国としては世界最大である米国の生産量の約2.4倍に相当する。EUは、牛乳・乳製品の自給率が109%で純輸出国となり、国際乳製品市場に大きな影響力を持っている。

2010年においてEUが世界の乳製品貿易量に占める割合は、チーズが47%（USDA資料）と依然として世界最大である。バターや脱脂粉乳は、それぞれ21%、28%となっており、それぞれ生産量の増加によりその割合は前年より大きくなっている。

### ① 主要な政策

#### ア 生乳生産割当（クォータ）制度

EUは国ごとに生乳生産割当枠（クォータ）を定め、クォータを超過した場合、100キログラム当たり27.83ユーロの課徴金が課せられる。加盟国間でのクォータの譲渡は認められていない。ただし、加盟国内の農家間でクォータの売却や貸し借り、また国による買い上げと再配分などができるため、国内での生産調整は可能となっている。

なお、この制度は、2008年11月に合意した「ヘルスチェック」（共通農業政策（CAP）の中間検証作業）に基づいて、2015年3月をもって廃止することが決定している。

## イ 乳製品の介入買い入れ

EUは、バターおよび脱脂粉乳の介入買い入れを通じた乳製品の価格支持により、間接的な生乳価格の支持をしている。介入価格は、2003年のCAP改革に基づいて、バターは2004年以降4年間で25%、脱脂粉乳同3年間で15%、それぞれ段階的に引き下げられたが、2008年9月以降さらに約3%引き下げられている。バターは、市場価格が介入価格(100キログラム当たり246.39ユーロ)の90%を下回った場合、加盟国の介入機関により、入札方式で一定規格のものを買い入れる。なお、CAP改革により、介入買入限度数量を新たに設定し、2004年に7万トン、その後毎年1万トンずつ削減し、2008年に3万トンまで削減された。

また、脱脂粉乳は、3月1日～8月31日の間、加盟国の介入機関が介入価格(100キログラム当たり169.80ユーロ)で一定規格のものを買い入れる。なお、当該年の介入買入数量が10万9000トンを超えた場合、介入買い入れは一旦停止され、市場動向などを勘案しながら入札による買い入れが実施できることとなっている。

## ウ 輸出補助金

EUは、乳製品の国際競争力を高め、輸出を促進するため、チーズ、バター、脱脂粉乳などの輸出に対して輸出補助金が交付している。輸出補助金の単価は、域内の市場価格と国際価格との差に基づき、品目ごと、輸出先ごとに販売・輸送コストなどを勘案して設定される。2007年から続く乳製品の国際価格の上昇を受けて、同年6月15日以降、すべての乳製品で輸出補助金がゼロとなっていたが、国際的な金融危機により国際価格が急落したことを受け、2009年1月から10月(脱脂粉乳については9月まで)の間、交付が再開された。

## エ 域内消費の促進

その他、乳製品に係る補助として、牛乳の学校給食用消費に対する補助などが行われている。

## ② 生乳の生産動向

## ア 酪農経営体数

EUの酪農経営体数は、小規模層を中心に減少傾向にあり、2007年には248万7000戸となった。2005年のEU27カ国ベースの参考データ(282万1千戸)と比較すると、2年間で11.9%減少している。

表2 酪農経営体数、乳用経産牛飼養頭数および1戸当たり飼養頭数の推移

(単位:千戸、千頭、頭/戸)

区分/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比	(参考)
							2006 EU-27
酪農経営体数	-	2,486.7	-	-	-	-	* 2,821.4
経産牛飼養頭数	22,315	24,176	24,248	23,700	23,072	▲ 2.7	24,305
1戸当たり経産牛飼養頭数	-	10	-	-	-	-	* 9

資料:欧州委員会「Agriculture in the European Union – Statistical and economic information 2011」、EUROSTAT「Structure of agricultural holdings」

注1:飼養頭数は、12月現在のもの

注2:2006年まではEU25カ国のデータ、2007年からはEU27カ国のデータ

注3:\* は2005年のデータ

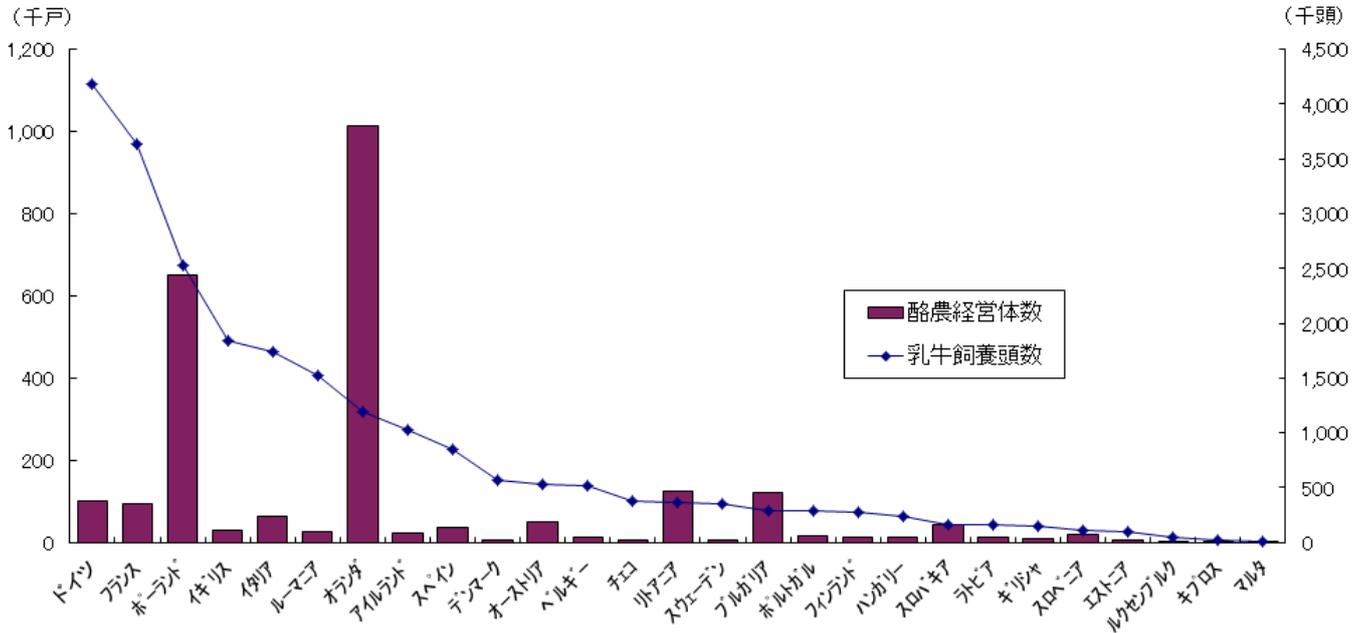
イ 飼養頭数

2010年12月現在の乳用経産牛飼養頭数は、2307万頭（前年比2.7%減）と前年を下回った。

2007年の1戸当たりの乳用経産牛飼養頭数は10頭で、2005年のEU27カ国ベースの参考データの9頭から増

加した。最も飼養規模の大きいデンマークが107頭であるのに対し、2007年に加盟したブルガリア、ルーマニアはそれぞれ2頭、1頭であり、加盟国間で年々差が大きくなっている。

図3 酪農経営体数(2007年)および乳牛飼養頭数(2010年12月)



資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Statistical and economic information 2011」

ウ 経産牛1頭当たり乳量

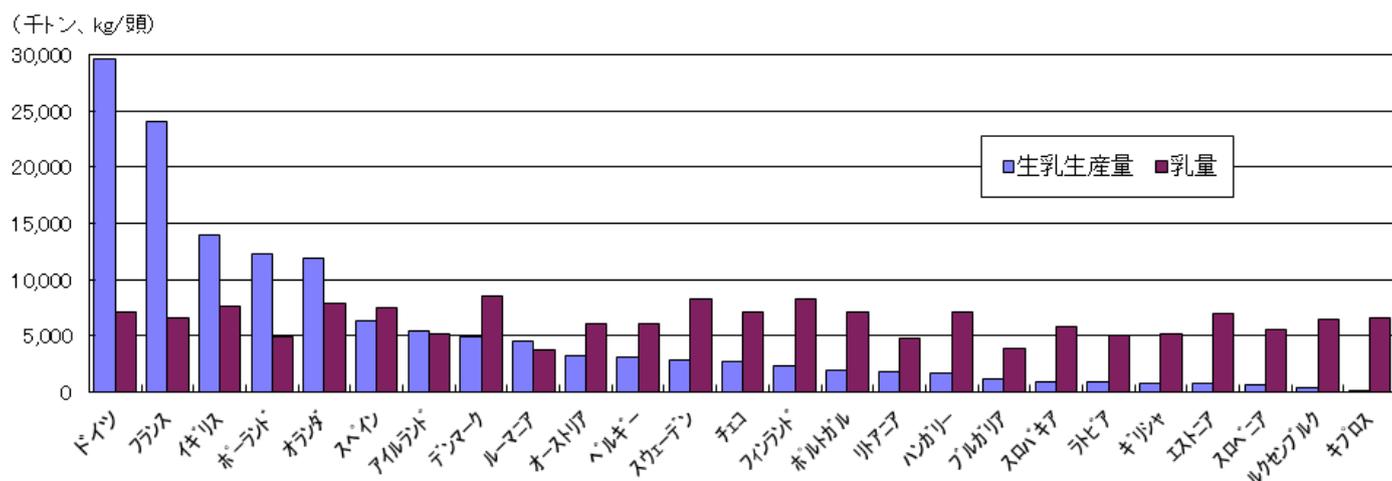
2010年の経産牛1頭当たり乳量は、前年比5.1%増の6,360キログラムとなった（注1）。ただし、加盟国間での差は大きく、デンマークの8,569キログラム（前年比2.2%増）、フィンランドの8,226キログラム（同2.5%増）に対し、2007年に加盟したブルガリア、ルーマニアはそれぞれ3,855キログラム（同94.3%増）、3,778キログラム（同15.2%増）と大きな開きがある。

注1：イタリアおよびマルタを除く25カ国平均

エ 生乳生産量

2010年の生乳生産量は、イタリアとマルタを除き1億3785万トンとなった。国別では、ドイツ、フランスで2000万トンを超え、イギリス、ポーランド、オランダで1000万トンを超えており、これら5カ国でEU全体の生産量の約7割を占める。

図4 生乳生産量(2009年)および経産牛1頭当たり乳量(2010年)



資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union – Statistical and economic information 2011」

### ③ 牛乳・乳製品の需給動向

#### ア 飲用乳

2010年の飲用乳生産量（販売量）は3102万トンとなり、EU27の1人1年当たりの飲用乳（乳飲料、ヨーグルトなどを含む）消費量は、加盟国間でかなりの差があるが、83.8キログラム（前年比0.6%増）とほぼ前年並みとなっている

表3 1人当たり飲用乳消費量の推移

(単位: kg/人、%)

国/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比
ベルギー	60.2	52.8	53.9	53.5	53.6	0.2
デンマーク	89.7	90.2	90.6	89.3	91.4	2.4
ドイツ	51.4	51.9	53.1	52.2	51.5	▲ 1.3
ギリシャ	65.0	66.6	70.7	68.1	-	-
スペイン	-	-	89.2	88.1	88.5	0.5
フランス	67.7	66.6	66.6	65.1	66.2	1.7
アイルランド	146.7	145.0	142.2	138.8	135.0	▲ 2.7
イタリア	60.1	57.4	54.5	56.6	56.7	0.2
オランダ	-	-	60.3	60.4	59.6	▲ 1.3
オーストリア	80.2	78.7	80.4	79.7	78.7	▲ 1.3
ポルトガル	93.5	92.2	90.7	88.2	87.1	▲ 1.2
フィンランド	-	-	132.1	131.0	126.6	▲ 3.4
スウェーデン	108.9	105.6	103.6	99.8	96.9	▲ 2.9
イギリス	-	-	103.4	104.4	107.0	2.5
EU15カ国	98.9	-	-	-	-	-
チェコ	51.4	51.7	52.9	59.7	57.6	▲ 3.5
エストニア	121.4	116.4	1200.6	117.9	-	-
ハンガリー	-	-	53.8	58.7	51.2	▲ 12.8
ポーランド	-	-	44.0	43.0	41.9	▲ 2.6
スロバキア	-	-	48.3	49.5	49.5	0.0
EU25カ国 <sup>(2)</sup>	89.8	88.7	89.4	88.5	88.2	▲ 0.3
ブルガリア	6.5	6.7	8.0	8.1	-	-
ルーマニア	107.1	113.0	105.3	100.1	-	-
EU27カ国 <sup>(2)</sup>	-	84.5	83.5	83.3	83.8	0.6

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2012」

注1：消費量には、乳飲料、ヨーグルトなどを含む

注2：乳業者の取扱品のみ

注3：2010年は暫定値

イ バター

EUはインドに次ぐ世界第2位のバター生産地域で、世界の生産量（2010年約813万トン：USDA資料）の約21%を占める。

2010年のバター生産量（バターオイルを含む）は、前年比1.0%増の210万トンとなった。これは、生乳生産量が増加したこと、域内需要の引きが強かったことによる。

2010年のEU域外輸出量は、前年比4.5%増の16万2000トンとなった。主な輸出先は、ロシアやイラン、モロッコなどである。一方、域外からの輸入量は4万トンであった。

バター消費量は、健康への関心の高まりにより90年代から減少傾向にあったが、2010年は前年並みの1人当たり1年間3.9キログラムとなった。国別では、フランス（7.9キログラム）、ドイツ（5.8キログラム）での消費が多いが、マーガリンやデリースプレッドの消費が多いデンマーク（1.8キログラム）などの北欧や、オリーブ油など植物油の消費が多いイタリア（2.6キログラム）など南欧では少ない。

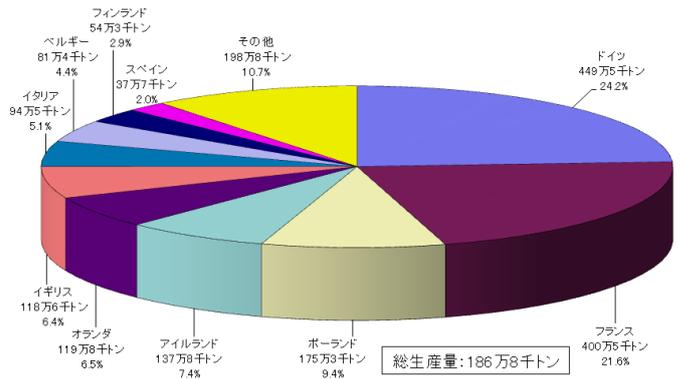
表4 バター需給の推移

(単位:千トン,%)

区分/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比
生産量	2,080	2,105	2,085	2,050	2,005	▲ 2.2
うち乳業工場	2,046	2,010	1,997	1,975	1,950	▲ 1.3
農家	34	95	88	65	55	▲ 15.4
輸入量	90	91	64	62	40	▲ 35.5
輸出量	246	212	154	149	156	▲ 4.7
在庫(12月末)	110	100	150	135	60	▲ 55.6
域内消費量	1,978	1,994	1,944	1,968	1,964	▲ 0.2
うち補助金なし	1,503	1,840	1,944	1,968	1,964	▲ 0.2
補助金つき	475	154	0	0	0	-
1人当たり消費量(kg)	4.3	4.0	3.9	3.9	3.9	0.0

資料:AMI「Marktbilanz Milch 2012」  
 注1:生産量には、バターオイルを含む  
 注2:2010年は暫定値  
 注3:2006年まではEU25カ国のデータ、2007年からはEU27カ国のデータ

図5 バターの国別生産量(2010年)



資料:AMI「MARKTBILANZ-MILCH 2012」

注1:EU27カ国

注2:バターオイルを除く

表5 1人当たりバター消費量の推移

(単位:kg/人,%)

国/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比
ベルギー	6.3	6.8	5.5	5.7	-	-
デンマーク	1.6	1.7	1.8	1.8	1.8	0.0
ドイツ	6.5	6.4	6.2	5.8	5.8	0.0
ギリシャ	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.0
スペイン	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0
フランス	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	0.0
アイルランド	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	0.0
イタリア	2.9	2.6	2.6	2.6	2.6	0.0
オランダ	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	0.0
オーストリア	4.8	5.0	4.9	5.2	5.2	0.0
ポルトガル	1.8	1.6	1.5	1.6	1.6	0.0
フィンランド	2.6	2.8	2.8	2.9	3.1	6.9
スウェーデン	1.8	1.9	2.0	1.9	1.9	0.0
イギリス	3.7	3.2	2.9	3.0	3.2	6.7
EU15カ国	-	-	-	-	-	-
チェコ	4.8	4.9	4.8	4.9	4.9	0.0
エストニア	3.4	3.5	4.3	5.5	-	-
ハンガリー	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.0
ポーランド	4.3	4.2	4.3	4.4	4.2	▲ 4.5
スロバキア	2.0	2.1	2.4	2.9	2.9	0.0
EU25カ国	4.2	4.3	-	-	-	-
ブルガリア	0.4	0.4	0.3	0.1	-	-
ルーマニア	0.5	0.5	0.8	0.7	0.7	0.0
EU27カ国	-	4.0	3.9	3.9	3.9	0.0

資料:AMI「Marktbilanz Milch 2012」

注1:2010年は暫定値

注2:2007年までAMI、ZMP調べ、それ以降はEUROSTAT

### ウ 脱脂粉乳

EUは、脱脂粉乳の生産量が世界の主要生産国（2010年 約340万トン：USDA資料）の約31.2%を占める世界最大の生産地域である。

2010年の生産量（バターミルクパウダーなどを含む）は、前年比7.0%減の102万トンと減少した。一方、消費量は、例年並みの64万4000トンであった。

2010年のEU域外輸出量は、域外の旺盛な需要により前年比60.9%増の38万トンと大幅に増加した。主な輸出先は、アルジェリアやナイジェリアなどのアフリカや、インドネシアやタイなどの東南アジアであるが、最近、中国向けの輸出が大幅に増加している。

表6 脱脂粉乳需給の推移

(単位:千トン、%)

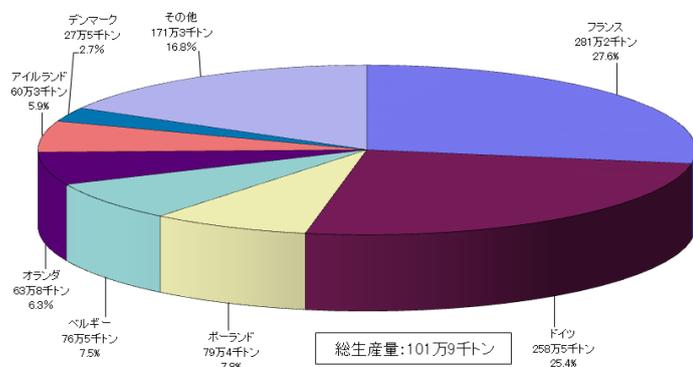
区分/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比
生産量	949	1,002	936	1,093	1,017	▲ 7.0
輸入量	19	10	8	6	4	▲ 33.3
輸出量	88	203	179	231	379	▲ 64.1
介入在庫量(12月末)	0	-	-	260	195	▲ 25.0
域内消費量	858	781	670	728	736	1.1

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2012」

注1：2010年は暫定値

注2：2007年までAMI、ZMP調べ、それ以降はEUROSTAT

図6 脱脂粉乳の国別生産量(2010年)



資料：AMI「Marktbilanz Milch 2012」

注1：ギリシャ、イタリアおよびルクセンブルグを除く

注2：2007年までAMI、ZMP調べ、それ以降はEUROSTAT

### エ チーズ

EUは、チーズの生産量では世界の主要生産国（2010年 約1471万トン：USDA資料）の約47.2%を占める世界最大の生産地域である。チーズ生産量は、2009年の後半以降乳価上昇により生乳生産が増加したこと、東欧諸国の消費拡大により域内需要が堅調に推移していること、域外輸出が好調であることから増加傾向で推移している。2010年の生産量は、前年比1.9%増の923万トンとなった。このうち主に牛乳を原料として乳業工場で製造されるものは847万トンとなっている。2010年のEU域外輸出量は前年比17.0%増の67万6000トンとなった。主な輸出先はロシア（21万6000トン）、米国（9万9000トン）、スイス（4万7000トン）、日本（4万3000トン）となっている。

一方、EU域外からの輸入量は、8万3000トンであった。主な輸入先は、スイス（4万8000トン）、ニュージーランド（2万7000トン）、豪州（3,000トン）となっている。

2010年のチーズ消費量は889万1000トンで、1人当たりの年間消費量は17.7キログラムであった。チーズの消費量は加盟国間でかなりの差があり、ギリシャ（1人1年当たり31.01キログラム）、フランス（同24.0キログラム）、ドイツ（同22.9キログラム）などで多く、アイルランド（同6.5キログラム）、スペイン（同8.9キログラム）などで少ない。

表7 チーズ需給の推移

(単位:千トン、%)

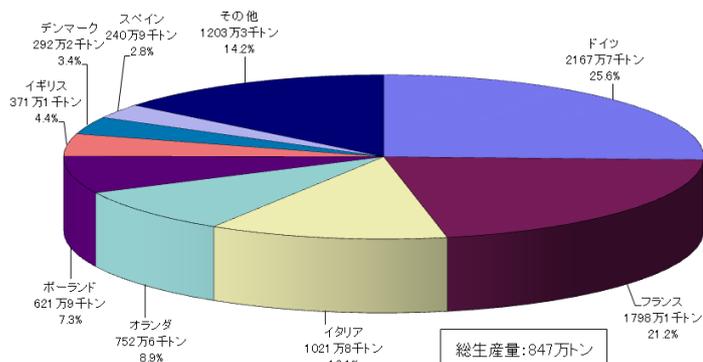
区分/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比
生産量	8,708	8,991	9,061	9,061	9,230	1.9
うち乳業工場(牛乳原料)	7,979	8,230	8,301	8,301	8,470	2.0
農家(牛乳原料)	85	100	110	110	115	4.5
その他(その他原料)	644	661	650	650	645	▲0.8
輸入量	108	94	84	84	83	▲1.2
輸出量	584	596	555	578	676	17.0
域内消費量	8,482	8,774	8,856	8,787	8,891	1.2
1人当たり消費量(kg)	18.3	17.7	17.8	17.6	17.7	0.6

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2012」

注1：2010年は暫定値

注2：2007年までAMI、ZMP調べ、それ以降はEUROSTAT

図7 チーズの国別生産量(2010年)



資料：AMI「Marktbilanz Milch 2012」

注1：主に牛乳を原料として、乳業工場で製造されるチーズのみ

注2：2007年までAMI、ZMP調べ、それ以降はEUROSTAT

表8 1人当たりチーズの消費量の推移

(単位:kg/人、%)

国/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比
ベルギー	21.1	21.2	20.7	20.9	20.4	▲2.4
デンマーク	-	-	-	-	-	-
ドイツ	22.0	22.3	22.2	22.3	22.9	2.7
ギリシャ	30.0	29.2	31.2	31.1	31.0	▲0.3
スペイン	9.1	9.2	9.1	9.0	8.9	▲1.1
フランス	23.3	23.9	23.9	23.9	24.0	0.4
アイルランド	6.8	7.2	6.2	6.4	6.5	1.6
イタリア	23.0	23.2	23.1	23.0	22.9	▲0.4
オランダ	21.1	21.5	20.5	20.4	20.3	▲0.5
オーストリア	18.4	19.0	19.4	19.1	19.4	1.6
ポルトガル	10.6	10.8	10.5	10.2	10.2	0.0
フィンランド	19.1	19.9	19.2	20.8	20.7	▲0.5
スウェーデン	18.2	18.1	18.3	18.1	18.0	▲0.6
イギリス	11.1	11.3	11.2	11.4	11.3	▲0.9
EU15カ国	-	-	-	-	-	-
チェコ	16.2	16.7	16.4	16.7	16.4	▲1.8
エストニア	15.8	18.4	16.7	18.4	19.4	5.4
ハンガリー	8.1	8.9	9.1	8.9	8.9	0.0
ポーランド	13.9	13.2	13.5	14.3	14.5	1.4
スロベニア	11.0	10.3	9.4	9.3	9.2	▲1.1
スロバキア	9.7	10.0	9.2	10.2	10.1	▲1.0
EU25カ国	18.3	18.5	-	-	-	-
ブルガリア	-	-	-	-	-	-
ルーマニア	-	-	-	-	-	-
EU27カ国	-	17.7	17.8	17.6	17.7	0.6

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2012」

注1：2010年は暫定値

注2：2007年までAMI、ZMP調べ、それ以降はEUROSTAT

#### ④生乳および牛乳・乳製品の価格動向

##### ア 生乳生産者価格

生乳生産者価格は、2007年後半以降の旺盛な国際乳製品需要を受け急騰したが、2008年9月以降、金融危機により急激に需要が減退したことから急落した。2009年は、前年を24.5%下回る100キログラム当たり25.6ユーロとなった。2010年は、ポルトガルとギリシャを除いて大幅に価格が回復し、前年比16.4%増の29.8ユーロとなった(EU25)。

表9 生乳生産者価格

(単位:ユーロ/100kg、%)

国/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比
ベルギー	25.84	32.54	30.99	22.71	29.25	28.8
デンマーク	28.42	31.54	36.21	27.13	30.60	12.8
ドイツ	27.35	33.45	33.83	24.08	30.83	28.0
ギリシャ	33.45	37.37	41.19	36.04	35.90	▲ 0.4
スペイン	28.61	35.15	38.06	28.98	29.26	1.0
フランス	25.94	27.96	32.60	26.61	29.17	9.6
アイルランド	25.53	32.52	33.01	22.20	28.92	30.3
イタリア	35.10	36.41	41.47	37.07	37.46	1.1
オランダ	27.28	31.77	34.36	25.17	31.41	24.8
オーストリア	28.54	32.25	37.51	27.69	30.33	9.5
ポルトガル	29.74	32.90	36.22	29.31	28.98	▲ 1.1
フィンランド	33.99	35.81	41.49	36.81	36.95	0.4
スウェーデン	27.66	30.27	34.84	25.80	34.60	34.1
イギリス	25.58	30.08	31.59	25.84	27.90	8.0
EU15カ国	27.60	31.90	34.70	26.35	30.30	15.0
チェコ	26.74	29.24	32.95	22.56	28.54	26.5
エストニア	24.32	26.86	29.69	21.06	27.74	31.7
キプロス	40.40	41.50	49.65	51.00	51.30	0.6
ラトビア	23.39	26.14	28.84	18.66	25.11	34.6
リトアニア	18.06	19.90	21.82	15.49	21.59	39.4
ハンガリー	24.15	28.92	32.81	21.87	26.20	19.8
ポーランド	23.15	27.49	28.53	20.20	25.71	27.3
スロベニア	26.65	27.83	32.79	25.99	27.34	5.2
スロバキア	25.00	28.87	32.53	21.08	27.51	30.5
EU25カ国	27.10	31.30	33.90	25.60	29.80	16.4
ブルガリア	21.47	25.01	29.94	25.37	27.62	8.9
ルーマニア	19.29	22.89	23.79	20.68	21.56	4.3
EU27カ国	-	-	-	-	-	-

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2012」

注：2007年までAMI、ZMP調べ、それ以降はEUROSTAT

## イ 牛乳小売価格

ドイツの2010年の全脂乳（乳脂肪3.5%以上）の小売価格は、前年比1.1%高の1リットル当たり0.90ユーロであった。

表10 ドイツにおける生乳小売価格の推移

(単位:ユーロ/リットル、%)

区分/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比
全脂乳 (乳脂肪1.6%~ 全脂乳 (乳脂肪3.5%以上) UHT牛乳 (乳脂肪1.5%)	0.55	0.65	0.71	0.57	0.60	5.3
	0.86	0.94	0.95	0.89	0.90	1.1
	0.50	0.56	0.61	0.48	0.52	8.3

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2012」

## ウ バター卸売価格

2010年のバター卸売価格（工場渡りまたは倉庫渡し）は、2009年の金融危機による需要の減退、生乳価格低下に伴う下落から回復を示し、主要国で前年を大幅に上回った（オランダ：前年比39.5%高、フランス：同38.6%高）。

表11 主要国のバター卸売価格

(単位:ユーロ/kg、%)

国/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比
フランス	2.49	3.25	2.61	2.41	3.34	38.6
ドイツ	2.54	3.43	2.69	2.55	3.46	35.7
オランダ	2.53	3.38	3.62	2.48	3.46	39.5
イギリス	2.57	3.50	2.75	2.62	3.60	37.7
イタリア	2.70	3.45	2.87	2.58	3.34	29.5
ベルギー	2.57	3.39	2.85	2.57	3.38	31.5

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2012」

注：工場渡りまたは倉庫渡しの価格で、付加価値税は含まれない。

## エ 脱脂粉乳卸売価格

2010年の脱脂粉乳卸売価格（工場渡し）は、バター同様、主要国では前年を大幅に上回った（オランダ：前年比23.3%高、ドイツ：同29.2%高）。

表12 主要国の脱脂粉乳卸売価格

(単位：ユーロ/kg、%)

国/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比
ドイツ	2.07	2.96	1.90	1.54	1.99	29.2
フランス	2.13	3.29	2.21	1.80	2.18	21.1
オランダ	2.12	3.17	2.12	1.76	2.17	23.3
ベルギー	2.14	3.24	2.26	1.83	2.21	20.8

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2012」

注：工場渡しの価格で付加価値税は含まれない

## オ チーズ卸売価格

2010年のチーズ卸売価格（工場渡し）も、そのほかの品目と同様に需要が回復したことにより、ドイツのエメンタールやイギリスのチェダーにおいて前年を上回った。

表13 主要国のチーズ卸売価格

(単位：ユーロ/kg、%)

国/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比
ドイツ エメンタール45%	4.11	4.56	5.19	4.63	4.80	3.7
英国 チェダー	2.99	3.67	3.64	2.93	3.26	11.1
フランス エメンタール45%	4.38	4.31	4.93	-	-	-
コンテ	5.43	5.50	5.90	6.33	-	-
ポーランド エメンタール	2.89	3.17	3.55	2.77	3.31	19.5

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2012」

注：工場渡しの価格で付加価値税は含まれない。

## (2)肉牛・牛肉産業

2010年のEUの牛肉生産量は、世界の牛肉生産量（約6284万トン：FAO）の約16.3%を占めている。EUは気候・地理・歴史的条件が異なるため、多種多様な品種の牛（肉用種、乳用種、乳肉兼用種）が飼養されており、牛肉の生産構造や生産する牛のタイプ（子牛、経産牛、去勢牛、雄牛など）は、国によってかなり異なっている。EUにおける牛肉自給率は2001年までは100%を超えていたが、2001年のBSE問題の再燃によって消費量が低下し、その後回復傾向にあるものの依然として生産量が消費量を下回り、2003年以降、牛肉の純輸入地域となっている。

## ①主な政策

## ア 介入買い入れ

EUは、域内の牛肉価格が下落した場合、加盟国の介入機関を通じて、一定基準を満たす牛肉を買い入れ、市場から隔離することにより、価格支持を行っている。枝肉のEU平均市場価格が、2週間にわたってトン当たり1,560ユーロを下回る場合、介入買入が行われる。

## イ 民間在庫補助

EU市場でR3に格付けされた雄牛の枝肉基本価格を100キログラム当たり222.4ユーロと定め、EU平均市場価格が基本枝肉価格の103%を下回り、それが継続する可能性がある場合、一定量の牛肉を一定期間、自己負担により在庫として保管する業者に対し助成が行われる。

## ウ 直接支払い

2000年度からの介入価格の引き下げにより減少した農業所得を補償するため、繁殖雌牛奨励金などの奨励金について、単価が引き上げられたほか、2000年には新たにと畜奨励金が新設された。

なお、2003年のCAP改革により、これらの生産にリンクした直接支払いは、原則、生産とはリンクしない直接支払い（デカップリング）へと統合された。ただし、加盟国は、これらの生産と結びついた直接支払いについてもデカップリングと併せて継続することが可能となっている。

## （ア）繁殖雌牛奨励金（Suckler cow premium）

繁殖雌牛を飼養する肉用牛生産者（生乳出荷量がゼロまたは生乳生産枠（クオータ）が120トン以下の生産者）に対し、1頭当たり200ユーロの奨励金が交付される。2013年までの運用。

## （イ）特別奨励金（Beef special premium）

雄牛や去勢牛を飼養する生産者に対し、去勢牛の生存中に2回（9カ月齢および21カ月齢（雄牛は1回のみ））まで、各農家90頭を限度として、去勢牛1頭当たり150ユーロ、雄牛1頭当たり210ユーロの奨励金が交付される。

## （ウ）と畜奨励金（Slaughter premium）

牛を一定期間飼養後、と畜または域外に輸出した生産者に対し、8カ月齢以上の牛1頭当たり80ユーロ、1カ月齢超8カ月齢未満の子牛1頭当たり50ユーロの奨励金が交付される。

## エ 輸出補助金

EU産牛肉の国際競争力を維持し、輸出を促進するため、輸出補助金が交付されている。輸出補助金の単価は、域内の市場価格と国際価格との差に基づき、品目ごと、輸出先ごとに設定される。

## オ BSE関連対策

動物性たんぱく質の飼料利用全面禁止、食肉に供される牛からの特定危険部位の除去などのBSE撲滅対策、講じられる対策の有効性を検証するための30カ月齢超の食用向けの健康な牛に対するBSEモニタリング検査などが実施されている。2009年1月1日より、検査月齢を30カ月齢超から48カ月齢超に変更することが可能となった。2011年7月より、ブルガリアおよびルーマニアを除く25カ国で48カ月齢超から72カ月齢超に変更された。

## ②肉牛の生産動向

## ア 牛飼養経営体数

2007年の牛飼養経営体数（乳牛飼養を含む）は333万4000戸で、2005年のEU27カ国ベースの参考データ（375万7000戸）に比べ11.3%減となっている。

牛飼養経営体数は、2007年のEU全農業経営体数（1370万戸）の24%を占めていることから、EU全農業経営体の約4分の1は何らかの形で牛を飼養していることになる。牛飼養経営体数の多い国は、ルーマニア（106万8000戸）、ポーランド（71万8000戸）、フランス（22万戸）、ドイツ（17万戸）、イタリア（14万7000戸）である。

表14 牛(乳牛を含む)飼養経営体数、飼養頭数および1戸当たりの飼養頭数の推移

(単位:千戸、千頭、頭)

区分/年	2006	2007	2008	2009	2010	(参考) 2006 EU-27	
						前年比	
牛飼養経営体数	-	3,334				-*	3,757
飼養頭数	84,893	89,037	88,866	88,300	86,540	▲ 2.0	88,463
1戸当たり飼養頭数	-	26.8				-*	24.0

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Statistical and economic information 2011」

注1：飼養頭数は、12月現在のもの

注2：2006年まではEU25カ国のデータ、2007年からはEU27カ国のデータ

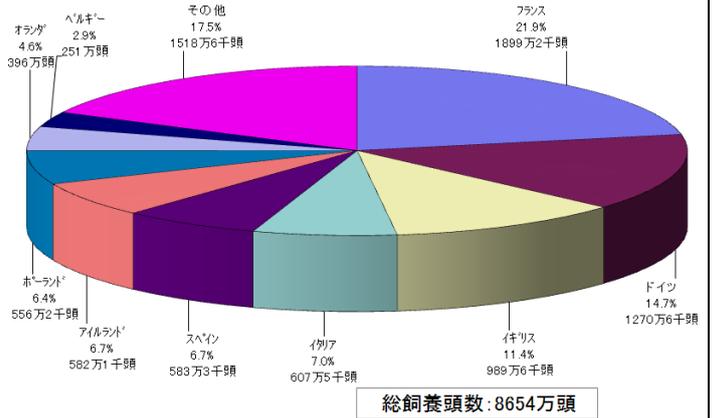
注3：\*は2005年のデータ

イ 飼養頭数

2010年12月現在の牛飼養頭数は、前年比2.0%減の8654万頭(乳用経産牛を含む)であった。2007年の牛の1戸当たりの飼養頭数は26.8頭で、2005年のEU27カ国ベースの参考データと比較して1.8頭増加している。1戸当たりの飼養頭数の多い国は、キプロス(201.6頭)、

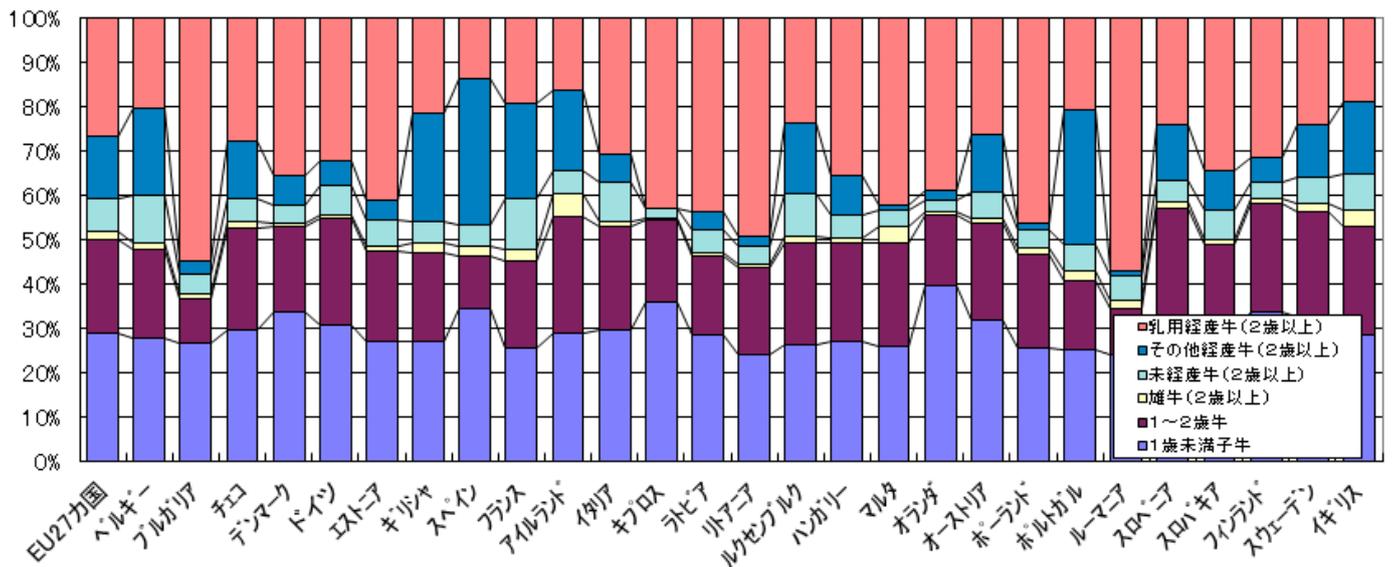
ルクセンブルク(129.7頭)、オランダ(106.7頭)、チェコ(101.6頭)、デンマーク(100.3頭)である。一方、飼養頭数の少ない国は、ルーマニアの2.6頭、ブルガリアの4.5頭、リトアニアの5.9頭となっており、加盟国間で差が大きい。

図9 国別牛飼養頭数(2010年12月)



資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Statistical and economic information 2011」

図10 国別タイプ別牛飼養割合



資料：EUROSTAT「Structure of agricultural holdings」

### ③牛肉の需給動向

#### ア 牛と畜頭数および牛肉生産量

2010年の牛と畜頭数は、2333万7000頭であった。国別に見ると、フランス（305万頭）、ドイツ（289万1000頭）、イタリア（226万8000頭）、英国（192万4000頭）、アイルランド（119万4000頭）の順に多く、これら5カ国でEUの全と畜頭数の約5割を占めている。

また、2010年の牛肉生産量は708万2000トン（枝肉換算）となった。

1頭当たりの平均枝肉重量は、成牛で337.5キログラム、子牛は155.4キログラムであった。

表 15 牛肉需給の推移(枝肉計算)

(単位:千トン、%)

区分/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比
生産量	7,880	8,102	8,022	7,657	7,802	1.0
輸入量	493	544	391	424	370	▲ 12.7
輸出量	192	117	166	117	275	2.4
消費量	8,216	8,631	8,297	8,024	8,012	▲ 0.1
介入在庫(12月末)	0	0	0	0	0	-
1人当たり消費量(kg)	16.2	16.4	16.1	15.3	15.6	1.0
自給率(%)	96.3	4.0	97.3	96.2	98.8	1.0

資料:欧州委員会「Agriculture in the European Union - Statistical and economic information 2011」

注1:2006年までEU25カ国のデータ、2007年からはEU27カ国のデータ

注2:輸出入量は、生体牛を除く

表 16 成牛1頭当たり平均枝肉重量

(単位:kg、%)

国/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比
ベルギー	429.7	441.3	432.1	437.4	428.2	▲ 2.1
デンマーク	262.9	261.1	261.2	286.0	286.5	0.2
ドイツ	331.8	343.8	337.7	337.9	342.5	1.4
ギリシャ	248.2	262.6	245.5	211.9	234.8	10.8
スペイン	268.3	286.3	287.6	290.0	299.7	3.3
フランス	371.3	379.8	374.1	369.7	373.0	0.9
アイルランド	322.7	345.9	340.5	339.5	344.4	1.4
イタリア	313.5	334.6	330.4	327.0	330.0	0.9
ルクセンブルク	362.1	381.8	374.5	376.3	381.4	1.4
オランダ	307.4	312.3	306.4	307.7	310.7	1.0
オーストリア	345.7	360.9	358.4	356.3	356.9	0.2
ポルトガル	280.9	292.8	299.1	286.4	284.4	▲ 0.7
フィンランド	293.1	309.2	311.9	314.4	321.9	2.4
スウェーデン	306.4	312.1	314.5	319.2	319.0	▲ 0.1
イギリス	326.2	347.0	342.3	346.3	350.0	1.1
EU15カ国	324.5	341.9	338.3	339.6	344.2	1.4
チェコ	298.1	305.9	306.0	300.6	306.0	1.8
エストニア	238.9	245.5	244.1	247.0	248.6	0.6
キプロス	216.4	227.0	228.1	312.3	329.8	5.6
ラトビア	214.2	220.7	218.1	223.2	219.8	▲ 1.5
リトアニア	224.7	240.6	240.6	251.4	253.4	0.8
ハンガリー	268.9	271.9	266.1	271.4	268.5	▲ 1.1
マルタ	268.9	301.1	276.0	266.5	265.5	▲ 0.4
ポーランド	263.0	278.0	280.1	283.4	292.6	3.2
スロベニア	319.5	336.9	336.9	336.9	341.4	1.3
スロバキア	264.8	275.4	270.2	273.7	275.5	0.7
EU25カ国	318.4	334.9	331.6	333.3	338.2	1.5
ブルガリア	193.2	559.6	160.3	230.9	220.8	44.0
ルーマニア	174.1	174.6	179.3	230.4	235.6	28.5
EU27カ国	315.4	330.1	3324.0	332.7	337.5	1.4

資料:欧州委員会「Agriculture in the European Union - Statistical and economic information 2011」

#### イ 輸入および輸出

輸入は、ガット・ウルグアイラウンド合意に基づき、さまざまな関税割当や近隣国との特惠制度が設けられている。2010年のEU域外からの輸入量は37万トン（枝肉換算）となった。主な輸入先は、ブラジル、アルゼンチンなどである。

輸出は、2001年のBSE問題の再燃や2002年2月の口蹄疫(FMD)の発生により、多くの国で一時的にEU産牛肉の輸入禁止措置が講じられたことで域内の牛肉

生産量が減少傾向となっていたものの、2010年のEU域外への輸出量は主にトルコやロシア向けが増加したことから27万5000トン（枝肉換算、前年比135%増）と前年から大幅に増加した。

ウ 消費

2000年11月にドイツ、スペインでBSE初発例の確認などにより、牛肉の安全性に対する疑念が消費者に広がり、2001年の消費量はやや落ち込んだ。2002年以降回復し、1999年の水準（749万9000トン）を超えて推移した。それ以降、増加傾向で推移していたが、2008年以降減少傾向となり、2010年は前年比0.1%減の801万2000トンとなった。

1人当たりの年間牛肉消費量も同様に2001年は落ち込んだが、2003年には2001年の水準から1.9キログラム増の20.2キログラムと回復した。しかし、2004年に新たに加盟した国の牛肉消費量が多くなかったことから、2004年のEU25カ国の1人1年当たりの消費量は18.0キログラムと、2003年のEU15カ国（20.2キログラム）と比べて減少し、以降ほぼ横ばいとなった。EU27カ国になっても大きな変動はないものの減少傾向となってお

り、2010年の1人1年当たりの牛肉消費量は15.6キログラムと前年よりわずかに増加した。

エ 介入在庫

1996、97年に、BSE問題の影響による価格下落に伴って介入買い入れが実施されたことにより介入在庫は急激に増加したが、98年末の50万4000トンピークに減少し、2000年末にはわずか2000トンとなった。しかし、2001年のBSE問題の再燃により、牛肉価格が落ち込んだため、通常介入だけでなくセーフティーネット介入も実施された。また、従来、介入買い上げの対象となっていなかった経産牛を買上対象とした特別買い上げも実施された結果、2001年末の介入在庫は22万2000トンに達した。その後消費の回復により、在庫は減少し、2004年以降ゼロとなっている。

④肉牛・牛肉の価格動向

ア 枝肉卸売価格

2010年の枝肉卸売価格は、旺盛な需要などを受けドイツ、フランスでは前年をかなり上回った。

表 17 牛枝肉卸売価格の推移

(単位: ユーロ/kg、%)

区分/年	2007				2008				2009				2010			
	若牛	去勢牛	経産牛	未經産牛												
EU	301.47	292.39	299.80	314.40	319.58	321.36	247.06	326.70	319.38	301.60	226.96	312.48	319.57	304.08	231.13	316.21
ドイツ	294.28	-	233.99	287.53	323.03	-	260.37	306.92	312.34	-	230.16	297.29	320.27	-	234.95	295.35
フランス	294.01	311.54	271.53	336.11	315.27	318.46	276.26	338.36	311.79	313.63	253.32	321.03	311.14	312.27	262.82	324.24
オランダ	281.17	287.73	229.18	236.25	300.13	316.59	253.80	260.59	295.11	297.21	230.61	254.96	279.40	303.60	227.94	237.33
英国	287.84	304.24	200.96	301.73	317.45	329.60	246.82	326.41	303.99	316.56	238.33	313.39	299.73	316.39	230.36	314.34

資料：欧州委員会「CIRCA : Communication & Information Resource Centre Administrator - Statistics」

### (3) 養豚・豚肉産業

2010年のEUの豚肉生産量は2661万5000トンと、世界の豚肉生産量（約1億910万トン：FAO）の約2割を占めている。EUは豚肉自給率が109.3%の純輸出地域である。なかでも、デンマークはわが国の主要な豚肉輸入先であり、EU全体の輸出量の約2割を占める。EUでは、加盟国間で差が大きいものの、食肉消費量に占める割合は豚肉が最も大きい。

#### ① 主な政策

##### ア 民間在庫補助

EUは、域内の豚肉価格が低迷した場合、特定の豚肉を一定期間、自己負担により在庫として保管する業者に対し、保管経費を交付する。近年では、2007年10月から12月までEU全域で発動したほか、2008年12月のアイルランドでのダイオキシン汚染飼料混入問題を受け、汚染されていない同国産豚肉を市場から一時的に隔離した。

##### イ 輸出補助金

EUは、EU産豚肉および加工品の国際競争力を高め、輸出を促進するため、輸出補助金を交付する。輸出補助金の単価は、域内の市場価格と国際価格との差に基づき、品目ごと、輸出先ごとに設定する。

なお、2007年11月以降措置していた輸出補助金は、2008年8月以降停止している。

### ② 肉豚の生産動向

#### ア 養豚経営体数

2007年のEUにおける養豚経営体数は352万戸と、2005年のEU27カ国ベースの参考データ（382万2000戸）と比較して7.9%減少した。全農業経営体数（1370万戸、2007年）に占める養豚経営体数の割合は約26%である。国別では、ルーマニア（169万8000戸）、ポーランド（66万4000戸）、ハンガリー（28万3000戸）、ブルガリア（15万4000戸）、スペイン（10万8000戸）が上位となっている。

表18 養豚経営体数、飼養頭数および一戸当たり飼養頭数の推移

区分／年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比	(参考)
							2006 EU-27
養豚経営体数	-	3,520	-	-	-	-	* 3,822
飼養頭数	161,929	160,039	159,965	152,988	151,911	▲ 0.7	158,563
1戸当たり飼養頭数	-	44.2	-	-	-	-	* 40.5

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Statistical and economic information 2011」

注1：飼養頭数は、12月現在のもの

注2：2006年まではEU25カ国のデータ、2007年からはEU27カ国のデータ

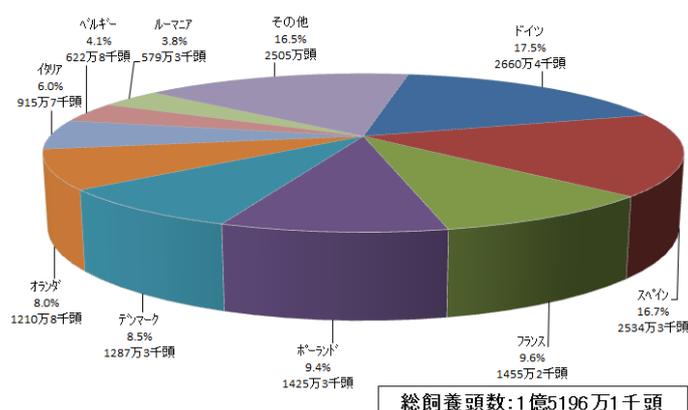
注3：\*は2005年のデータ

#### イ 飼養頭数

2010年12月現在の豚飼養頭数は前年比0.7%減の1億5191万1000頭となった。

1戸当たりの飼養頭数をみると、2007年は44.2頭と、2005年の40.5頭（EU27カ国ベース）から3.7頭増加している。国別では、アイルランド2007.0頭、デンマーク1903.4頭と、1千頭を超える国もあれば、ルーマニア2.8頭、ブルガリア5.5頭と、新規加盟国では10頭未満となるなど、加盟国間で大きな差がみられる。

図11 国別総飼養頭数(2010年12月)



資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union – Statistical and economic information 2011」

### ③ 豚肉の需給動向

#### ア と畜頭数と豚肉生産量

2010年の豚と畜頭数は、前年比3.0%増の2億4835万頭となり、豚肉生産量は前年比3.6%増の2221万9000トン(枝肉ベース)となった。1頭当たりの平均枝肉重量は前年並みの88.6キログラムであった。

#### イ 輸入および輸出

2010年におけるEU域外からの輸入量(枝肉ベース)は、前年比35.3%減の2万2000トンとなった。

一方、同年のEU域外への輸出量(同)は19.4%増の183万9000トンとなった。増加の要因は、相対的にユーロ安で推移したこと、秋口における域内豚肉価格の下落などが挙げられる。EUの豚肉輸出の3分の1を占めるロシアで前年比6%増であったこと、さらに中国に対して同19%増と大幅に増加、日本も同20%増と回復したことによる。

表19 豚肉需給の推移(枝肉ベース)

(単位:千トン、%)

区分/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比
生産量	21,400	22,858	22,596	21,449	22,219	3.6
輸入量	21	29	50	34	22	▲35.3
輸出量	1,598	1,426	1,872	1,657	1,839	11.0
消費量	19,823	21,364	20,872	19,826	20,402	2.9
1人当たり消費量(kg)	42.9	43.3	42.1	39.9	40.9	2.5
自給率(%)	108.2	107.1	108.6	108.8	109.3	0.5

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union – Statistical and economic information 2011」

注：2006年まではEU25カ国のデータ、2007年からはEU27カ国のデータ

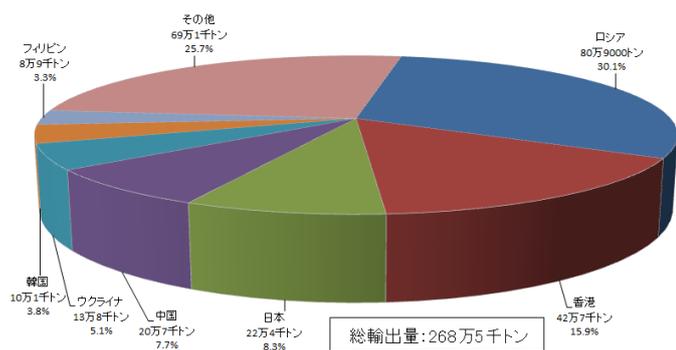
表20 豚1頭当たり平均枝肉重量

(単位:kg、%)

国/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比
ベルギー	93.7	94.7	94.7	96.9	94.5	▲2.5
デンマーク	81.6	84.3	82.1	82.0	82.8	1.0
ドイツ	93.0	93.5	93.2	93.5	93.6	0.1
ギリシャ	61.7	62.5	62.2	62.6	62.1	▲0.8
スペイン	82.4	82.9	84.4	82.0	82.5	0.6
フランス	88.8	88.7	88.5	80.5	80.6	0.1
アイルランド	78.6	78.5	78.5	80.9	80.6	▲0.4
イタリア	116.3	117.9	117.9	125.1	126.5	1.1
ルクセンブルク	68.5	67.5	66.4	71.7	70.7	▲1.4
オランダ	90.2	90.9	90.8	92.3	92.4	0.1
オーストリア	94.2	94.8	94.7	96.3	95.2	▲1.1
ポルトガル	63.0	63.0	63.8	63.2	64.5	2.1
フィンランド	87.0	87.2	88.3	87.8	90.3	2.8
スウェーデン	87.5	88.2	88.1	88.2	89.7	1.7
イギリス	76.6	77.9	78.5	79.8	80.2	0.5
EU15カ国	88.5	89.2	89.3	88.7	89.0	0.3
チェコ	88.8	88.6	88.5	87.8	88.6	0.9
エストニア	78.5	79.3	79.9	79.6	78.3	▲1.6
キプロス	81.1	81.0	81.6	80.5	77.7	▲3.5
ラトビア	75.4	76.8	77.8	76.4	73.9	▲3.3
リトアニア	78.9	78.7	81.0	76.6	78.0	1.8
ハンガリー	93.0	92.8	92.2	90.4	90.3	▲0.1
マルタ	79.4	85.0	83.3	81.8	81.7	▲0.1
ポーランド	85.3	84.5	84.6	86.1	87.2	1.3
スロベニア	82.1	81.9	82.5	82.7	86.1	4.1
スロバキア	92.7	94.6	94.4	90.4	90.5	0.1
EU25カ国	88.1	88.7	88.8	88.5	88.8	0.3
ブルガリア	74.2	127.5	73.5	69.7	68.1	▲2.3
ルーマニア	82.1	82.8	80.4	76.9	78.3	1.8
EU27カ国	87.9	88.7	88.6	88.3	88.6	0.3

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union – Statistical and economic information 2011」

図12 豚肉の輸出相手国(2010年)



資料: Danish Agriculture & Food Council 「Statistics on the pig industry 2011」

注1: 製品重量ベース

注2: 生体、内臓肉、調製品等を含む

### ウ 消費

2010年の消費量は前年比2.3%増の204万2000トン(枝肉ベース)となった。同年における1人当たり年間豚肉消費量は、前年から0.8キログラム増加の40.9キログラムとなった。

### ④豚肉の価格動向(豚肉の市場価格)

豚枝肉市場価格(以下「市場価格」という)は、加盟国の代表的な市場における豚枝肉の加重平均価格をベースとして算出される。

2010年の市場価格は前年比1.4%安の100キログラム当たり140.24ユーロであった。ユーロ安により域外輸出は増加したものの、域内の豚肉需要が冷え込んだことが影響したとみられる。

表21 豚枝肉市場価格の推移

(単位:ユーロ/100kg、%)

国/年	2006	2007	2008	2009	2010	前年比
ベルギー	141.06	129.17	145.35	133.24	130.25	▲ 2.2
ブルガリア	-	171.29	176.83	174.52	163.53	▲ 6.3
チェコ	147.54	138.56	163.19	149.96	142.09	▲ 5.3
デンマーク	128.25	117.70	130.50	122.87	126.31	2.8
ドイツ	153.99	139.08	160.67	146.03	144.37	▲ 1.1
エストニア	139.80	141.38	156.08	149.80	142.53	▲ 4.9
ギリシャ	188.48	161.75	184.46	172.98	160.87	▲ 7.0
スペイン	154.16	139.14	151.46	145.17	145.70	0.4
フランス	141.57	127.75	142.10	131.07	129.91	▲ 0.9
アイルランド	140.11	132.57	144.31	131.60	130.63	▲ 0.7
イタリア	157.97	144.16	165.83	151.93	150.23	▲ 1.1
キプロス	164.89	149.69	154.36	153.02	161.93	5.8
ラトビア	153.84	148.97	170.84	155.29	143.36	▲ 7.7
リトアニア	143.53	140.71	169.75	156.78	145.37	▲ 7.3
ルクセンブルグ	154.79	139.99	161.30	147.32	146.21	▲ 0.8
ハンガリー	144.98	136.64	160.42	149.46	141.21	▲ 5.5
マルタ	160.73	152.46	161.72	182.00	182.00	0.0
オランダ	137.22	123.64	142.94	130.40	128.79	▲ 1.2
オーストリア	151.24	137.82	155.13	138.39	137.79	▲ 0.4
ポーランド	129.00	128.37	158.32	143.69	134.91	▲ 6.1
ポルトガル	160.66	147.33	156.72	151.96	153.21	0.8
ルーマニア	-	151.09	173.05	158.13	153.41	▲ 3.0
スロベニア	147.86	136.55	150.16	137.78	136.85	▲ 0.7
スロバキア	147.47	139.19	167.92	153.36	145.77	▲ 4.9
フィンランド	133.07	138.29	150.20	144.74	141.67	▲ 2.1
スウェーデン	139.39	144.03	152.05	137.84	145.76	5.7
英国	149.53	152.95	154.14	159.42	160.42	0.6
EU27カ国	145.29	135.17	153.26	142.22	140.24	▲ 1.4

資料: AMI 「MARKT Bilanz VIEH UND FLEISCH 2012」

注: 2006年はEU25カ国、2007年以降EU27カ国